

NPO法人ゴダイ  
理事長

い し い きよ み  
石井 聖美さん



「なにわのそぞろ巡り」にて

### プロフィール

1955年、大阪府吹田市生まれ。高校卒業後、服飾関係の専門学校に進み、77年にアパレルメーカーに就職。2年後、結婚と同時に東淀川区へ。79年退職。79年から「組みひも」を受講し、81年には組みひもの講師となる。ほぼ同時期に日本結び文化の会（現日本結び文化学会）で「重ね結び」を受講。83年から同学会講師。ほかに94年から大阪市生涯学習インストラクターバンク登録講師、97年から大阪観光ボランティアガイド（現会長）。01年8月からNPO法人ゴダイ理事長としても活動中。



飾り結びの指導風景（写真提供：石井さん）

# 生き生き長寿社会をめざして

生き生き長寿社会を活動テーマに、寝たきり老人を少なくする運動に取り組んでいるのが、今年8月に設立5周年を迎える「NPO法人ゴダイ」。その理事長が石井聖美さんである。

「寝たきり老人を少なくするというのは、お互いが元気な老人であり続けようということなのです」と石井さん。そのためには、「人と人との交流が必要だし、自然の中に出掛けて体を動かす。ただ動かすだけではなく頭もちょっと使いましょ」といふ発想につながっていきます。

この発想から生まれたのが、3月19日に第17回目を迎えるウォーキング例会「竹の内街道史跡めぐりウォーク」である。竹の内街道（竹内街道）とは堺市の大小路から奈良県葛城市の長尾神社に至る、日本最古とされる官道。例会では、1回のコースを約10キロに設定。楽しく歩くことで健康増進を図るほか、途中の史跡などに立ち寄り、ゲストスピーカーから説明を聞き、頭の運動も兼ねる。

ほかにも、年1回開催される「御堂筋の彫刻巡り」をはじめ、20回を超えた「な

にわのそぞろ巡り」や、「飾り結び勉強会」など、主にシルバー層の活性化を図る活動を続けている。

### 実現たい健康体操

実は、NPO法人ゴダイ立ち上げを発案したのは、4人のサラリーマン卒業生だった。石井さんによると「リタイア後、行く場所が限られるから自分達の群れ場をつくろうと。同じやるなら社会に奉仕できるものを」ということに。が、NPO法人設立には10人以上の正会員が必要となる。メンバーのひとりが、大阪市生涯学習インストラクターバンクの中で、飾り結びの講師として活動中の石井さんと同時期に講師登録していた縁もあり、参加を呼びかけた。しかも「男4人だと誰がトップになっても不公平になる。理事長になってほしい」と。

突然の申し出に驚きながらも快諾したのは、「小学校5、6年生の時、朝礼でみんなの前で整列！とか言って号令する集会委員だったんです。あれ、快感みたいなものがありますよね（笑）」。

さらに、「人の世話をするのが大好き。高校3年間は志願して部活のプレイングマネージャーをやりましたから」とも。号令をかける方法を小学校で、人の面倒見を高校時代に学んだというわけだ。こうした体験が、石井さんの行動力の原点となっているのだろう。

ちなみに、法人名の「ゴダイ」は、起業家で大阪商工会議所（現大阪商工会議所）初代会頭の五代友厚氏にあやかって名づけられたものだそうだ。

ところで今夏、NPO設立5周年を迎えるが、「本当にありがたいことです。このペースで活動を続けられれば」と喜びを隠さない。一方、「今後の目標であり検討課題」として健康体操の実施を挙げる。「高齢者向けで、医療費がグンと減ったという実績を持つ健康体操があるのです。場所や指導者が必要なのですぐには無理ですが、実現すれば見える形で社会に貢献できることにもなりますね」。

（文・脇本勤 / 表紙写真・山崎良一）